

地球温暖化？

地球は人類による工業や自動車の排気などによる**炭酸ガス (CO₂)**効果によって次第に温暖化しているという。ところが武田教授の言うように週刊新潮によって CO₂ 濃度の捏造が曝露された。これが事実なら、ゴアのノーベル賞は「早きに失した。」あるいは「予定通りの行動」だったのかもしれない。先を越されたが、この (2010 年) 4 月 5 月の寒さはどうだ！ これでも地球全体にとっては「温暖化」なのだろうか？ 以前に、人類というのは地球にとって表面を汚染するだけの無用の存在であり、ゴミみたいなものである、と書いた。温暖化については懐疑的である。百歩譲って「地球は温暖化している」ことをみとめてみよう。CO₂ が原因か結果かはともかく、過去 50 年 100 年の気温の推移をみればそうかもしれない。

今年の 4 月 5 月の寒さは、たまたま今年だけだという考えもある。1 年くらいの気温の変化に一喜一憂するほどの問題ではない、という論も成立つ。大きな「長期展望からみれば許容範囲だ」というのである。

はたしてそうだろうか？ 地球はその誕生以来数千万年単位で**氷河期と間氷期をくりかえしている**という。(地質の調査ではっきりしている。) すると、現在は単に (地球の長期観測があれば)、温暖化していく時期であるという考え方もできる。観測データを否定する気はさらさらないが、あまり重視しすぎると、**誤まった結果・推測に陥る**可能性がある。われわれのもっているデータは所詮、高々 100 年 200 年にすぎない。

話をかえてみると、すでに 60 年も前からいつ関東や日本全体に巨大な地震が発生してもおかしくない、と言われ続けてきた。**いつもけえへんやん。・・・**すると、地球の数十億年の歴史からみればとるにたらない数字であるという。それなら、たかが 100 年 200 年も眼をすって鼻をかむ時間にすぎない、という答えが返るだろう。

南極については知らないし、計算したこともないが、各地の氷河が後退していつているという報告がある。これをすべてCO₂の所為にするのは無理があるのではないか。地球固有の寒暖によると考えてもおかしくないのではないか。・・・北極海の氷が全部溶けても海表面は上昇することは決してない、というのは正しい。さらに、氷が溶ければ水になる。すると蒸発が生じる。で、海面の高さは変化がなくなる、というのも一理ある。

さらに極移動の話がある。仮に南極の氷がすべて溶けたとしても必ず新しい極地ができて、氷の量全体については変わらないのではないか。たかじんの番組に出演している武田邦彦教授の意見の方が説得力があるような気がする。

たかだか100年くらいの変化で数十億年の地球の営みを憶測するのは好きにすればいいが、押し付けるほどの論拠ではないだろう。それを理解することもなく、CO₂排出量を25%も削減すると先走ってしゃべってしまうような首相は、なにを根拠に大向こう受けするようなことを言うてしまうのだろう。・・・米軍海兵隊による抑止力についてようやく理解した（本当に理解しているかどうかはわからないが）などとノ一天気なことを語る首相の器に、みな今ごろわかったのか、と呆れているところである。

これでは、民主党の支持率が下がるのも当然だろう。いろんな人を選挙にひっぱりだすのはいいが、以前に学歴詐称で頭をうったことを忘れてる。

すでにのべたことだけれども、「こんなのに政治をやらせてはいけない」人格が山ほどいるのではないか。少しも学習せず、有名人をひっぱりだす。でるほうも出る方だが、出す方も出す方だ。素人に政治をやらせるな、と言っているのではない。単なる著名人と政治は関係がない。・・・いいかげんに気がつけよ！

2010.05.11.

この話は続く。